

平成31年度予算最終査定状況（1月下旬）

一般会計「歳入」

（単位：千円）

款名称	前年度 予算要求額	前年度 当初予算額	予算要求額 (A)	一次 査定額 (B)	最終 査定額 (C)	差引 (C-B)	差引 (C-A)
市税	99,014,500	99,983,600	① 99,983,600	101,783,600	101,574,500	▲ 209,100	1,590,900
地方譲与税	881,600	899,800	① 899,800	899,800	888,900	▲ 10,900	▲ 10,900
利子割交付金	112,900	128,200	① 128,200	128,200	108,400	▲ 19,800	▲ 19,800
配当割交付金	683,900	582,800	① 582,800	582,800	559,000	▲ 23,800	▲ 23,800
株式等譲渡所得割交付金	645,800	676,900	① 676,900	676,900	622,300	▲ 54,600	▲ 54,600
地方消費税交付金	9,292,900	10,817,700	① 10,817,700	10,928,900	11,174,600	245,700	356,900
ゴルフ場利用税交付金	3,100	3,400	① 3,400	3,400	3,500	100	100
自動車取得税交付金	275,600	352,000	250,843	250,843	217,500	▲ 33,343	▲ 33,343
環境性能割交付金	-	-	101,157	101,157	78,400	▲ 22,757	▲ 22,757
国有提供施設等所在市助成交付金	198,800	198,800	① 198,800	198,800	198,800	0	0
地方特例交付金	596,000	597,000	662,000	2,712,000	2,227,500	▲ 484,500	1,565,500
地方交付税	3,278,000	2,668,000	② 2,713,000	3,283,001	3,283,000	▲ 1	570,000
交通安全対策特別交付金	62,700	62,700	60,300	60,300	60,300	0	0
分担金及び負担金	2,219,282	2,213,200	1,877,948	1,837,310	1,837,000	▲ 310	▲ 40,948
使用料及び手数料	5,255,828	5,255,300	5,099,553	5,104,577	5,103,800	▲ 777	4,247
国庫支出金	38,306,492	36,180,800	38,961,243	36,471,113	38,484,500	2,013,387	▲ 476,743
県支出金	11,512,984	11,320,700	11,711,149	11,298,825	11,045,900	▲ 252,925	▲ 665,249
財産収入	340,198	334,500	330,023	347,985	347,800	▲ 185	17,777
寄附金	679,853	674,500	682,363	672,092	672,300	208	▲ 10,063
繰入金	4,072,500	5,080,500	③ 4,032,700	4,532,700	4,582,700	50,000	550,000
繰越金	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	0	0
諸収入	8,686,688	8,708,200	8,747,917	8,590,586	8,673,000	82,414	▲ 74,917
市債	27,406,400	20,911,400	④ 24,220,400	20,040,700	20,116,300	75,600	▲ 4,104,100
合 計	213,826,025	207,950,000	213,041,796	210,805,589	212,160,000	1,354,411	▲ 881,796

（予算要求額）

- ①については、10月下旬の要求時点では見積れないため、前年度の予算額と同額を計上。
- ②のうち普通交付税については、10月下旬の要求時点では見積れないため、前年度の予算額と同額を計上。
- ③のうち財源調整基金繰入金については、4,000,000千円を計上。
- ④のうち臨時財政対策債については、10月下旬の要求時点では見積れないため、前年度の予算額と同額を計上。

（一次査定額）

市税、地方譲与税、税交付金、普通交付税及び臨時財政対策債については、地方財政対策の伸び率や県が示した税交付金見込額等を考慮し計上。

（最終査定額）

市税、地方譲与税、税交付金については、地方財政対策、県が示した税交付金見込額等を考慮し変更しました。また、幼児教育・保育の無償化に係る財源の考え方が国から示されたことから地方特例交付金を変更しました。国の補正予算による国庫補助金を活用し30年度3月補正に前倒した事業や、市長復活査定で予算化された事業の特定財源等も変更しています。